

イルミア®による治療を受けている患者さんへ

新型コロナウイルスワクチンの接種について



中野 貴司 先生 川崎医科大学 小児科学 教授

佐伯 秀久 先生 日本医科大学 皮膚科学/皮膚粘膜病態学 教授

Q1

イルミア®を使用中に新型コロナウイルスワクチンの接種を受けることはできますか？

A1

乾癬の生物学的製剤を使用している患者さんもワクチン接種は可能とされています。ただし乾癬の状態によっては、接種を慎重に検討した方がよい場合があるので、ワクチン接種を検討している方や、受けるかどうかお悩みの方は、主治医にご相談ください。

Q2

イルミア®を使用中にワクチン接種をした場合、ワクチンの有効性や安全性に影響はありますか？

A2

現在のところ、イルミア®のワクチン接種に対する影響については、十分な情報がありません。ただしワクチン接種に際して生物学的製剤を含む全身療法を中断する必要はないとされています。

Q3

新型コロナウイルスワクチンはどのような仕組みで働くのですか？

A3

大きく分けて2種類(mRNAワクチン、ウイルスベクターワクチン)のワクチンがあります。これらのワクチンは、いずれもウイルスを構成するタンパク質の遺伝情報が入っています。

投与すると、体内でその遺伝情報をもとにウイルスのタンパク質が作られ、その後タンパク質に対する個体の反応が起きることで免疫を獲得します。いずれのワクチンも、規定回数接種することでより有効性が得られます。

ワクチン接種により、注射した部分の痛み、発熱、倦怠感、頭痛、筋肉や関節の痛み等がみられることがあります。まれにアナフィラキシー(急性のアレルギー反応)が発生することがあります。

なお、ワクチン接種が新型コロナウイルス感染の原因になることはありません。

